

下根中学校 学校運営協議会だより

日頃より下根中学校 学校運営協議会の活動に、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度の活動を報告します。

学校運営協議会とは？

学校と保護者と地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

1. 今年度の協議内容

- ① 地域との連携を築くためにできることについて、地域や社会をよくするために何ができるか
- ② 生徒の不登校問題の解決について
- ③ 学校が抱える課題について生徒の意見を聞く

2. 実施事項

- ① 総合的な学習「防災学習」、「災害時の第一次避難場所までのルート確認と危険箇所の発見」の実施
防災学習をとおして、地域とのつながりを認識し、中学生として地域で何ができるかを学ぶ
- ② 不登校問題について情報共有や意見交換を行い、対象者へアンケートを実施
- ③ 生徒会委員との面談し、学校生活で感じている本音、希望、不満等の聞き取りを実施

その他学校運営協議会の役割

- ・学校教育方針(グランドデザイン)の承認
- ・校内授業研修への参加(授業参観と研究協議)

【防災学習】 2023/12/8

第2学年を対象に、市役所防災課と連携した防災学習を初めて実施した。下根中学校が避難場所となったことを想定し、どんな状況になるのか(段ボールベッド、簡易トイレ、発電機、パーテーション等)を体験した。中学生としての役割や避難所で求められることを学んだ。



【災害時の第一次避難場所までのルート確認と危険箇所の発見】 2024/2/9～20

第1学年を対象に、自分の行政区の地図シートを配付。行政区とは何かを知り、災害時の第一次避難場所を確認する。また自宅からのルートと、ルート上に想定される危険箇所を発見し、地図シートに記入する。避難訓練の一環として、家族と点検・共有し、地域の防災活動を知る機会とする。地図シートを回収後、危険箇所についてまとめ、行政区長に報告する。



3. 今後について

- 防災学習について、実施内容を毎年検討し、継続して実施する。3学年を対象とした学習を検討する。
- 防災は地域と密接にかかわることなので、防災学習をとおして地域住民との交流をはかり、地域の問題解決に何ができるかを考える機会にしていく。
- 不登校問題についてアンケートを回収後に、学校内および学校外で必要とされているサポートについて協議する。
- 生徒との面談の機会を定期的に設ける。

【学校運営協議会委員紹介(2023年度)】

◎会長:高野雅広(むつみ行政区長 元PTA会長) ○副会長:沼田雄一(元PTA会長)・大谷志織(元PTA副会長)
志津野恵(PTA会長)、古川真(元PTA会長)、相澤光一(下根行政区長)、茂木裕平(ねむの木台行政区長)
吉良志野・大竹優子・平松加奈子・平田千佳(地域学校協働活動推進員)
多田智恵子(下根中学校スクールアシスタント)、渡邊順子・浅井優子(元PTA本部役員) 加川裕美(前牛久市市議会議員)
立花勝行校長、田邊勉教頭、郡司島泰先生(教務主任)